

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 49	提案機関名 三浦市農業協同組合
要望問題名 年内収穫セロリの栽培実証について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 年内どりダイコンの代替品目として、一部で12月どりセロリの栽培（6月上旬播種、9月上旬定植、12月中旬～収穫）が行われている。栽培方法はセル成型ポットへの播種後、鉢上げを行い2カ月程度育苗したものを定植する。育苗期間及び定植後の生育前期が高温期であることから遮光シートにより、温度管理が行われているが生育が不順となることが多い。収穫物については、共販では競合する産地が少ないことや、契約栽培などでも需要が見込まれることなどから、高単価な出荷価格が期待できる。そこで三浦半島にあった低コスト、低労力栽培を検証願うとともに優良品種についても選定願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) I-2(7) 三浦半島地域の特徴を活かす技術の開発 セロリの安定生産技術の確立		
対応の内容等	当所では近年ダイコンの代替品目の探索を行っており、これまでにレタスやコカブ、ニンジンなどについて作型開発や有望品種の選定等に取り組んできました。 今回、要望のあったセロリについては、平成19年度に農業技術センター本所で夏まき冬どりセロリの試験を行っていますが、雨よけハウスで実施しており、露地での試験結果はありません。また、当所では昭和55～56年にかけてセロリの施肥法試験に取り組んでおりますが、当時と気象条件や栽培環境等が変化していると考えられることから、露地マルチ栽培など三浦半島にあった低コスト、低労力栽培の検証を行うとともに、優良品種の選定を実施します。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			